

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1206

令和8年9月

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



キバナコスモス（藤原宮跡・奈良県）

トピックス:「水都おおさか・森林（もり）の市 2026」の紹介（技術普及課）

ニュース:、福井森林管理署、三重森林管理署、企画調整課

花草木:ベゴニア・センパフローレンス

我が署のスタッフ:滋賀森林管理署

森林事務所等紹介:八幡森林事務所（滋賀森林管理署）

国有林最前線:広島北部森林管理署

「水都おおさか 森林（もり）の市 2026」の紹介

【技術普及課】

「水都おおさか森林（もり）の市」は、都市に暮らす人々に森林の大切さや木の魅力を伝えることを目的に、1987年（昭和62年）からスタートしたイベントです。大阪市北区の大川沿いを会場に、毎年多くの来場者でにぎわうこのイベントは、2026年で第38回を数えるまでに成長しました。長い歴史の中で、「森林と都市をつなぐ場」として、地域とともに歩んできた取り組みです。

今年度は10月25日（日）に毛馬桜之宮公園・桜ノ宮合同庁舎において開催します。会場では、展示、体験、物販など多彩なプログラムを通じて、森と人とのつながりを楽しみながら学ぶことができます。毎年、様々な出展者が工夫を凝らして、来場者をお迎えしており、今年度の出展者が決定したところですので、紹介したいと思います。

○体験ブース

一番人気の体験できるブースについては、22団体あり、木工・クラフト、森林学習、自然観察、林業体験、食育体験まで、幅広い内容が揃っており、

- ・木工体験
- ・クラフト体験
- ・木のおもちゃコーナー
- ・炭火焼体験
- ・生きもの学習
- ・森林・林業の仕事体験 など、学びと楽しさを兼ね備えたブースが並びます。

○展示ブース

次に展示をしているブースについて、17団体あり、

- ・森林・林業を学ぶ
- ・自然・環境を学ぶ
- ・木の文化・ものづくりを楽しむ など、多彩な団体が森林保全や環境活動への理解を深める展示を行います。

○販売ブース

最後に、24団体が販売ブースで、

- ・ジビエグルメ・農産物
- ・木工品・雑貨
- ・ハンドメイド・クラフト など木の温もりを感じる商品が充実しています。

○紹介ブース

さらに、林業に関心のある方に向けては、林業の仕事や学びの場について紹介するブースもあり、森を守り育てる仕事を知る貴重な機会となっています。

「山から海へ つなげる水都おおさか森林の市」を今年度のキャッチフレーズにしており、森林や木材、自然環境の魅力を五感で体感できるイベントです。ご家族やご友人と一緒に、ぜひ森の恵みあふれる一日をお楽しみください。

【昨年の水都おおさか森林（もり）の市の様子です】



オープニングセレモニー



店舗の写真



丸太切り体験



木材と触れ合う体験



クイズラリーの問題



クイズラリーに参加いただいた方々

■ お問い合わせ・最新情報

出展団体、ステージスケジュール、ワークショップの詳細等については、近畿中国森林管理局ホームページ等にて順次公開予定です。なお、天候等により内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ホーム＞ 報道・広報＞ イベント情報＞ 水都おおさか森林（もり）の市

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



森の巨人たち 100 選「桃木峠の大杉観 察会」を開催しました！

【福井森林管理署】

令和 8 年 8 月 11 日（火）の「山の日」、大野市の^{きょうがたけ}経ヶ岳
国有林にある「^{ももきとうげ}桃木峠の大杉」の観察会を開催しました。
本行事は桃木峠の大杉保全協議会が主催し、福井森林管
理署および阪谷公民館が共催したもので、子どもから大
人まで約 40 名が参加しました。

桃木峠の大杉は樹齢 500 年以上とされるスギの巨木
で、大野市指定天然記念物に指定されているほか、平成
12 年には「森の巨人たち 100 選」に選定されています。



ドローン撮影（上空からみた大杉）

当日はドローンによる上空からの観察や大杉までの自然
観察を実施し、参加者は幹回り約 8 メートルの大杉の迫力
を間近で体感しました。子どもたちは大杉の幹回りの計測
を楽しそうに手伝っていました。



大杉の幹回りをはかる子供たち

今後も地域住民や保全協議会と連携しながら、大杉を
次世代へ引き継ぐため保全活動に取り組んでまいります。

第 27 回「大杉谷国有林におけるニホン ジカ森林被害対策指針実施検討委員会」 を開催しました。

【三重森林管理署】

令和 8 年 7 月 27 日（月）、三重県大台町の^{おおすぎだに}大杉谷国
有林において、第 27 回「大杉谷国有林におけるニホン
ジカ森林被害対策指針実施検討委員会」を開催しました。

当日は、検討委員に加え、環境省や三重県林業研究所、
大台町、紀北町など関係機関から計 26 名が参加し、森
林再生の状況やニホンジカ捕獲対策について現地検討を
行いました。



平成 26 年度 植栽箇所での現地検討

植栽地では、地域性苗木の生育状況や植生回復の進捗
を確認し、長年の取組により森林再生が着実に進んでい
ることを共有しました。また、今後の気候変動等による
環境変化も踏まえた森林づくりの必要性について意見交
換が行われました。



改良型くりわなの説明

午後には、ツキノワグマの錯誤捕獲防止機能を備えた
改良型くりわな「WILD BEAR」を視察し、その効果や
活用方法について理解を深めました。

今後も関係機関と連携し、森林生態系の保全と再生に
取り組んでまいります。

未来の森を支える担い手を育てる 一林業大学校等にフォーカス 奈良県フォレスターアカデミー

【企画調整課】



奈良県 Nara Forester Academy

フォレスターアカデミー

近畿中国森林管理局と管内の林業大学校等 11 校で構成する林業大学校等協議会を設置し、森林・林業の次代を担う人材の育成・確保に取り組んでいます。

各校では森林・林業のプロの育成を目指し、学生達が知識・技術の習得に汗を流しています。各校をリレー形式で学生の日常や取組などをご紹介します。

令和 8 年 8 月、奈良県フォレスターアカデミーのオープンキャンパスを開催しました！

本校や森林・林業に興味がある方を対象に、「学校・入試説明」、「施設見学」、「模擬授業」、「在校生・講師とのフリートーク」、「学生企画による実習体験」を実施しました。

参加者の皆様は、オープンキャンパスを通して、学校生活や就職について知ることができ、また、在校生とのトークや実習体験に触れていただくことによって、『なりたい自分』をイメージできる時間を過ごしていただけたと思います。



オープンキャンパスの様子

奈良県フォレスターアカデミーに関すること、学生募集、イベント案内は QR コードをご参照ください。随時学校見学も受け付けております。



○ホームページ



○Facebook

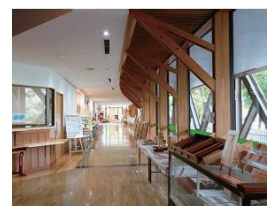


○Instagram



お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【箕面森林ふれあい推進センター】

○「ウシガエル捕獲大作戦」の参加者を募集します！

【開催日】令和 8 年 9 月 29 日（火）

【集合場所】エキスポ'90 みのり記念の森駐車場

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

ホーム>森林管理局の概要> 箕面森林ふれあい推進センター >情報コーナー> トピックス（実施済みイベント情報など）>「ウシガエル捕獲大作戦」（9 月 29 日）の参加者を募集します！

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/r8_hokaku.html



【技術普及課】

○下刈の省力化・低コスト化に関する現地検討会の開催します。

【開催日】令和 8 年 11 月 10 日（火）

【場 所】新見文化交流館 小ホール（岡山県新見市新見 123-2）

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

ホーム>報道・広報>報道発表資料>下刈の省力化・低コスト化に関する現地検討会の開催について

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/260904_1.html



花草木

【ベゴニア・センパフローレンス】

ベゴニア・センパフローレンス（学名 Begonia Semperflorens）は、おそらく日本で一番ありふれたベゴニアで、四季咲きベゴニアとも呼ばれ、公園や学校に植えられている小さいベゴニアは、ほとんどがこの種です。

ベゴニアは、ブラジルを原産とする多年草です。

半日陰でも育つので、お庭はもちろん、ベランダや玄関先でも栽培しやすい植物といえます。品種によって開花時期は異なりますが、5月～11月にかけて鮮やかな花を咲かせてくれます。

ベゴニアには驚くほど多様な品種が存在していて、野生種は世界で約 2000 種以上が確認され、品種改良が盛んにおこなわれてきた結果、現在では 1 万種類以上もあるといわれています。

ベゴニア・センパフローレンスの花言葉は、「不格好」「奇形」です。



公園で咲いていたベゴニア・センパフローレンスの花

我が署のスタッフ 滋賀森林管理署

城第 智久（じょうだい） ともひさ（令和7年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

鳥獣害対策担当として、シカによる森林被害を防ぐための業務に携わっています。シカ捕獲事業の監督や市町との連携を通じて、森林被害の軽減に取り組んでいます。相手が野生動物だからこその難しさもありますが、自分なりに工夫した取組が成果につながったときには、大きな達成感を得られる仕事です。

【職場の雰囲気は？】

職場は風通しが良く、分からないことは上司や先輩に気軽に相談できます。担当やグループを越えて協力することも多く、一人で悩みを抱え込まずに仕事を進めることができます。若手職員も安心して挑戦できる居心地の良い職場です。

【林野庁の魅力は？】

私自身、林業の知識がない状態で入庁しましたが、充実した研修制度や先輩方のサポートのおかげで、知識や経験を身に付けながら業務に取り組んでいます。自分の仕事が地域や森林の未来につながっていることを実感でき、大きなやりがいを感じられることや、現場に出る機会が多く、森林や自然に触れながら働けることが魅力です。



昨年 11 月開催の現地検討会でシカ捕獲機器を説明

森林事務所等紹介

八幡森林事務所（滋賀森林管理署）

森林官 吉田 周平（よしだ しゅうへい）

八幡森林事務所では、約 2,400ha の国有林を管理しています。八幡管内の特徴としては、かつて島であったものの、干拓によって陸続きとなった奥島山国有林や伊崎国有林、また、平安時代に瀬田の唐橋から依藤太が射ったとされる大ムカデ伝説の舞台となった三上山国有林など、人々の歴史や文化と深い関わりを持つ国有林が挙げられます。



伊崎国有林（左）・奥島山国有林（手前）と大中干拓地

八幡森林事務所管内の特徴的な取組として、伊崎国有林で実施しているカワウ被害対策事業があります。この事業は平成 16 年度（2004 年度）から実施しています。

カワウ被害とは、カワウが集団で樹上に営巣することにより、枝の折損や糞害によって植物が枯死し、森林が荒廃してしまう状態のことです。被害が最も深刻だった時期には、樹木の枯損に加え、乾燥した糞が空気中に舞い、マスクの着用が欠かせない状況であったといいます。こうした被害を防ぐため、ワーキンググループの設置や営巣状況の調査、シャープシューティング※によるカワウの駆除や追い払いを積極的に実施し、平成 30 年（2018 年）には営巣被害がほとんど見られなくなりました。



糞によって覆われた植物
（伊崎国有林）



平成 17 年（2005 年）頃の被害状況（伊崎国有林）



令和 8 年（2026 年）回復した森林の状況（伊崎国有林）

現在では、植樹などの森林再生の取組の効果もあり、樹冠がほぼつながるまで回復しましたが、継続して月に 1 回程度の巡視を行い、カワウの営巣状況を確認しています。

※動物の行動を調査し、出没場所や時間を見定めて、「銃器」（空気銃）で効率よく捕獲する方法です。

シリーズ『国有林 最前線！』

林業を担う人材育成に向けた取り組み

広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、森林環境教育プログラムを通じて森林の大切さを伝えるとともに、将来の林業を担う人材の育成につながる取組を進めています。

令和2年に、広島県森林組合連合会、広島県立庄原実業高等学校及び国有林を管理する広島北部森林管理署の3者による人材育成連携協定を締結しました。その後、令和4年からは広島県庄原市も参画し、関係機



1年生によるチェーンソー実習

関が相互に連携・協力しながら継続的な森林環境教育プログラムを進めています。

取組では、森林観察や収穫調査、木工体験などを通じて、森林が水源の涵養や災害防止、生物多様性の保全など、多面的な機能を有していることを学びます。

また、森林を適切に管理し、木材を資源として活用する林業の仕事についても紹介しています。小型林業機械の操作体験やドローン操縦体験などの実習に加え、実際に森林で働く職員との交流を通じて、生徒は森林を守り育てる仕事への理解を深めています。

こうした体験は、森林や自然への関心を高めるだけでなく、地域の森林を支える人々の役割を理解する貴重な機会となっています。実際に、森林環境教育プログラムに参加した当時の庄原実業高等学校の生徒が林野庁へ入庁し、現在は広島北部森林管理署で職員として活躍しています。



2年生によるドローン操作実習



2年生による小型林業機械の操作実習

広島北部森林管理署では、協定締結以降、上述のような森林観察や収穫調査、ドローン操作実習等に取り組んでいるところであり、引き続き、同様の取組を継続し、将来の林業を担う人材の育成を推進してまいります。